

## エピソード

# 『何が違うんやろう?』 5歳児 5月 伏見こども園

Aちゃん Bちゃん Cちゃんは石鹼を削り、水を少しずつ入れて、泡立て器やスプーンで混ぜて、毎日つくった泡を冷蔵庫で置いておき、繰り返し泡づくりを楽しんでいました。

とろとした泡がつかれるようになってきて「クリームみたい」「本物みたいになってきた」「イチゴクリームにしたい」などと話していました。近くで、花やレモン汁、桑の実などを混ぜていろいろな色の色水をつくっている友達の様子を見て、3人で「桑の実を混ぜてみる?」「イチゴクリームになるかな」と、泡と桑の実を混ぜてみることにしました。AちゃんとBちゃんが桑の実を摘んできて、つくっている泡の中に入れて混ぜ合わせ始めました。Cちゃんは石鹼を削り、Aちゃん、Bちゃんはその削った石鹼も加えながらさらに混ぜていました。しばらくしてAちゃんが「色が変わってきた。紫になってる」と見せると、Bちゃんは「私ののは(紫色に)ならない。何が違うんやろう?」と不思議そうにAちゃんの泡と見比べていました。その後もAちゃんとBちゃんは桑の実や石鹼を加えながら混ぜていましたが、Aちゃんの泡は薄い紫色、Bちゃんは白い色でした。

その日の振り返りでBちゃんが「Aちゃんみたいに桑の実を入れたけど色が付かなかった」と話しました。保育者がBちゃんのつぶやきから「AちゃんとBちゃんの泡は何が違うのかな?」と問いかけると、「桑の実が少なかったんじゃない?」「白ってことは石鹼が多かったのかもしれない」「桑の実をもっとつぶしてみる」という声が上がりました。保育者が「桑の実の量と石鹼の量が違うから色も違ったってことかな。Aちゃんの方が桑の実が多くて、Bちゃんのは石鹼が多かったのかな」と言うと「そうだと思う」とみんなが頷いていると、Bちゃんは「じゃあ明日は桑の実をもっと入れて混ぜてみる」と、試してみることを楽しみにしていました。

## 子どもの育ちや学び

クリームみたい(見立てる)



水はちょっとずつ入れて速く混ぜるよ(調節)

桑の実を混ぜてみよう(試す)  
薄い紫になったよ!(発見)



何が違うんやろう?  
(比較)(不思議)(疑問)

何が違うのかな?  
考えてみよう!  
(話し合い)



本当だ!色が違う!  
(共感)

石鹼が多かったから?  
(予想)(推測)

桑の実をもっと  
つぶすのはどう?(提案)

- ・石鹼や水の量を調節しながら、クリームみたいな泡をつくる。
- ・つくり方や混ぜるものは同じでも、同じ色にならないことに気付く。
- ・友達と自分のつくった泡を見比べて、色の違いから不思議さを感じたり、どこが違うのか考えたりする。
- ・振り返りで話し合うことで、友達の思いに共感したり、原因を考えたりする。
- ・友達の意見を受け止め、考えたことを試してみようとしたりする。

## 保育者の思い

- ・色水遊びと同じ場で泡づくりをしていたことで、桑の実で色水をつくっている子の様子が自然と目に入ったこと、桑の実の色水は少量でも色が濃く出ていることで「混ぜてみよう」という気持ちが出たのかなと思いました。
- ・保育者は色の違いは桑の実の量の差だろう、とわかりましたが、つくっている様子を見ていてわかるほどの量の差はありませんでした。同じように混ぜているBちゃんにとってAちゃんと同じ色にならないことは「うまくいかない」というよりも「何が違うんやろう?」という不思議や疑問の方がより大きく感じられたのかな、と思いました。
- ・「同じようにしていたけど、何かが違う」と感じていたことを振り返りで話すことで、みんなの違いの原因を考えたり色が変わる方法を見つけたりするきっかけになってほしいと思い、子ども達で考えを出し合うことを大切にしました。

## 家庭だったら

見たり比べたりする力が育ってきて「同じようだけど違う」ということにも気付き「何でだろう?」と原因や理由を考えることが増えてきました。「何でだろう?」の子どもたちなりの考えを聞いてみると面白いですね。